

# 多変量解析を用いたテキスト分析

## 研究概要

例えば、日本書紀は30巻で構成されています。しかし、この30巻を誰がどのように筆録したのかは、明らかになっていません。1人の手によるものなのか、複数の手が入っているのかは、まったく不明です。しかし、多変量解析を使い、文字使用の偏向(複数の文字の使用度数の相関)を見ることで、文字表記の癖というものが明らかになってきます。それにより、性格の違いから、いくつかのグループに文章(日本書紀各巻)を分類することが可能となります。

また、これは必ずしも同一の文献である必要はありません。例えば日本書紀と風土記の関係、風土記と古事記の関係、あるいは、それを全部ひっくるめて、古事記・日本書紀・風土記の文章がどのように、近く、どのように遠いのかも、この分析で明らかになります。

その他にも、これとは異なるテキストマイニングの理論を使って、文字使用の偏向を分析し、文章の近似性、または非近似性を明らかにすることも可能です。これまでは、文章の分析は文章を読んだ人間の目が、頭が行っていましたが、それを、統計的な手法で、人間の主観の入らない方法で分析することを行っています。

## 企業メリット

**キーワード** 多変量解析、クラスター分析、テキストマイニング、日本神話、日本書紀、上代文学

**主要な研究テーマ**

- ・多変量解析を用いた日本書紀の編纂
- ・テキストマイニングに基づく文献の性格分類

## 技術相談に応じられる分野

・日本神話、古典文学(特に上代)、テキスト分析

## 利用可能な装置等

・なし

---

所属学科：一般教育科  
氏名：松田 信彦 Matsuda Nobuhiko  
TEL： F A X :  
E-mail：n-matuda@kagoshima-ct.ac.jp  
所属学会：古事記学会、上代文学会、風土記研究会、國學院大學国文学会  
研究分野(専門分野)：日本神話、上代文学